

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	鶴川女子短期大学
設置者名	学校法人 明泉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	国際こども教育学科	夜・通信	4	4	4	48	7	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本学情報公開ホームページにて以下のものを公表 II 修学上の情報等 実務経験のある教員等による授業科目一覧 https://www.tsurukawatandai.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/d4945297f96366577fd285ea7bf7e244.pdf</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鶴川女子短期大学
設置者名	学校法人 明泉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人 明泉学園のホームページにて公表
<http://www.meisen.ac.jp/pdf/yakuin.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	日本ギデオン協会会員、中野島キリスト教会役員	4年間 (2018年11月21日～2022年11月20日)	外部者から見た学園経営への評価・提言
非常勤	(有)joho 設計 代表取締役	4年間 (2018年11月21日～2022年11月20日)	外部者から見た学園経営への評価・提言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鶴川女子短期大学
設置者名	学校法人 明泉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>鶴川女子短期大学学則に基づく「授業計画及び成績評価基準に関するガイドライン」にシラバス作成の必要事項としての授業方法とその内容、到達目標、成績評価の方法や基準の基本的事項を規定している。さらに、シラバス作成にあたっては“シラバスハンドブック”(年度ごと)を作成し、下記の項目についてさらに具体的に要点を明確にして全教員に徹底している。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 講義概要 (2) 実務経験の有無と内容およびその教育について (3) 授業計画および学習形態 (4) 教育目標との関連 (5) 到達目標 (6) 評価方法および評価基準 (7) 準備学習(予習・復習等) (8) 教科書 (9) 参考書・参考資料・参考 URL など (10) オフィスアワー <p>授業計画は前年度の後期より作成を開始し、学生には当該年度が始まる前の3月に学内のポータルサイトにて公表するとともに、当該年度の開始時点で本学情報公開ホームページにも情報公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本学情報公開ホームページにて以下のものを公表 II 修学上の情報等 シラバス https://www.tsurukawatandai.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/cf3ddd70d4d46892e97856c58bf5823f.pdf</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- (1) 成績評価の基本とガイドラインを以下の通り実施している。
- ①成績評価は、学生が何をどの程度できるようになったかを評価することを基本とする。
 - ②成績の評価基準は学則第22条（成績評価基準）及びGPA制度に関する規程第2条（評価等）に基づき評価している。
 - ③教務委員会は各期の成績評価結果を、GPAによる科目別成績分布及び学年別GPA分布を学内のポータルサイトに公表している。この資料を、短大企画本部、教務委員会は各期の評価結果の妥当性の検証（成績評価基準の認識の統一）を行っている。
- (2) 成績評価（単位認定）のための具体的指標は以下のとおりである。
- ①多様な評価項目を通じて厳格かつ適正な評価となるよう心掛ける。
試験やレポートの内容、学習への意欲など、どのように学修成果として評価し単位認定しているのか、あらかじめ設定して明らかにしている。
 - ②評価方法として、ルーブリックを用いたパフォーマンス評価や学修ポートフォリオを活用している。ルーブリックを用いたパフォーマンス評価は、評価指標（到達目標）と評価指標に即した評価基準のマトリクスを学生に示し、達成基準を明確にしている。
その基準に従って、レポート、プレゼンテーション、グループ学習などの評価に活用している。
これらを総合して、個々の授業の総括的評価（成績評価）や形成的評価を行っている。
 - ③シラバスには“評価方法および評価基準”の欄に評価内容の配分割合とその内容の具体的な基準を記載している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学、GPA規程では以下の指標により設定・公表し運用している。

第2条 学生が履修した授業科目の成績の評語をS、A、B、C、Dで示す。及びグレード・ポイント（評価により与えられる数値を4、3、2、1、0で示す。以下「GP」という。）は、次のとおりとする。

評語	GP
S・・・(Excellent 基準を大きく超えて優秀である)	・・・4
A・・・(Good 基準を超えて優秀である)	・・・3
B・・・(Satisfactory 望ましい基準に達している)	・・・2
C・・・(Pass 単位を認める最低限の基準には達している)	・・・1
D・・・(Fail 基準を下回る)	・・・0

第4条 GPAは、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。

$$GPA = (GP \times \text{単位数}) \text{の総和} \div \text{履修登録単位数}$$

第5条 対象外の科目は次のとおりである。

- (1) 履修規程第8条第3項（資格・検定試験による単位認定）により判定する授業科目。
- (2) 学生が他大学等で履修した授業科目。
- (3) その他、学長が定める授業科目

第7条 成績の公平性の確保と学生等への説明責任を果たす等の目的で、科目ごとに「S・A・B・C・D・E・F」の分布状況を、教員及び学生向けに公表する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

本学情報公開ホームページにて以下のものを公表

Ⅱ 修学上の情報等 GPA 規程

<https://www.tsurukawatandai.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/53bdd6d49869af4222d2d6490f5848c7.pdf>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学は、幼児の心身の発達を真に理解し、保育技術を体得した教養ある家庭婦人、保育者を養成する専門の女子短期大学として発足した。現在は“グローバル市民”を育むことのできる乳幼児教育者の養成にも力を入れ、以下の教育理念に基づき、後述する学位授与の方針を身につけた者に卒業を認定し学位を授与している。</p> <p>●教育理念</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 愛をもって幼児を育成する教育者の養成 2. 社会でも家庭でも自分らしく生きられる女性の育成 <p>●学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【知識・理解】幼児教育に関する専門知識と技術を修得し、以下のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> ・国家資格を有する保育者としてその資質能力を生かして社会に貢献できる ・地域および家庭において幼児・児童の育成に貢献できる 2. 【思考・判断】周囲の状況や他者の気持ちを理解し、適切な判断ができる 3. 【技能・表現】社会的スキルを身につけ、他者と円滑なコミュニケーションができる 4. 【関心・意欲】こどもをはじめとして、広く社会（教育・福祉・環境）に関心を持ち、積極的に貢献しようとする意欲をもつことができる 5. 【態度】常に愛情をもって他者に奉仕することができる <p>また、卒業要件については学則、履修規程に必要単位数を定め、またGPA規程には、入学時からの累計ポイントの指標（努力義務）を明示している。 なお卒業認定手順は卒業判定会議、教授会を経て学長が認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学情報公開ホームページにて以下のものを公表している https://www.tsurukawatandai.ac.jp/public.html I 教育研究上の基礎的な情報の場所に、 教育理念と学位授与の方針 II 修学上の情報等の場所に 学則、履修規程、GPA 規程 2. 学生ハンドブック（冊子）にもこれらの情報が記載されており、学生及び教職員に配付している。

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	鶴川女子短期大学
設置者名	学校法人 明泉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学情報公開ホームページにて以下のものを公表 Ⅱ 修学上の情報等 http://www.meisen.ac.jp/pdf/zaimushohyou_h30.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 公表方法: 本学情報公開ホームページ https://www.tsurukawatandai.ac.jp/pdf/self_inspection_h30.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 一般財団法人短期大学基準協会 平成28年度評価結果 http://www.jaca.or.jp/assets/files/2-1_jigyo/6_kekka/h28/26_h28_tsurukawajoshi.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際こども教育学科
教育研究上の目的 (https://www.tsurukawatandai.ac.jp/wp-content/themes/tsurukawa/img/outline/gakusoku_2018.pdf) (概要) 多文化な乳幼児教育現場において、愛情をもって子どもの最善の利益を保障できる乳幼児教育者を養成するための教育及び研究を行う。
卒業の認定に関する方針 (https://www.tsurukawatandai.ac.jp/about_us.html) (概要) ①【知識・理解】 幼児教育に関する専門知識と技術を修得し以下のいずれかに該当する者 ・ 国家資格を有する保育者としてその資質能力を生かして社会に貢献できる ・ 地域および家庭において幼児・児童の育成に貢献できる ②【思考・判断】 周囲の状況や他者の気持ちを理解し、適切な判断ができる ③【技能・表現】 社会的スキルを身につけ、他者と円滑なコミュニケーションができる ④【関心・意欲】 こどもをはじめとして、広く社会（教育・福祉・環境）に関心を持ち、積極的に貢献しようとする意欲をもつことができる ⑤【態度】 常に愛情をもって他者に奉仕することができる
教育課程の編成及び実施に関する方針 (https://www.tsurukawatandai.ac.jp/about_us.html) (概要) 履修区分：「国際こども教育コース」・「こども教育コース」 ①【8つの領域】 8つの領域を設定し、多面的な人材育成を図る。 1)教育・保育の本質と目的に関する科目 2)人間の理解に関する科目 3)世界の教育・保育に関する科目 4)表現技術・基礎技能に関する科目 5)言語に関する科目 6)教育・保育の内容・方法に関する科目 7)実習・実践・研究に関する科目 8)教養に関する科目 ②【教養科目】 国際理解や日本の文化、倫理など、人間として健康に豊かに生きていくための幅広い教養科目を設置する。特に、キャリア教育は2年間を通して行い、初年次教育から社会人基礎力の育成まで一貫したひとつの科目として編成する。 ③【専門教育科目】 乳幼児教育の原理から実践に必要な技能の修得まで、科目間の連携を図りながら、実践演習をひとつの集大成科目と位置づけ、重層的に科目を編成する。 ④【言語に関する科目】 グローバル社会の中で活躍できる保育者の養成を目指し、正しい日本語と、実践的な英語コミュニケーション能力を修得するための科目を編成する。 ⑤【資格・免許取得】 2年間で保育士資格と幼稚園教諭免許状が取得できるよう教育課程を編成し、事前・事後指導も含めて実習科目を編成する。 ⑥【時間割編成乳幼児教育の専門職としての意識を高め、アクティブ・ラーニングで実践的な力を養うため、演習科目のみならず講義科目もできる限り少人数で履修できるよう時間割を編成する。

<p>入学者の受入れに関する方針 (https://www.tsurukawatandai.ac.jp/about_us.html)</p> <p>(概要)</p> <p>①【知識・理解】乳幼児教育に関する専門知識と経験を有する</p> <p>②【思考・判断】こどもの視点に立ち、柔軟な思考・判断ができる</p> <p>③【技能・表現】日本語および基礎的な英語によるコミュニケーションができる</p> <p>④【関心・意欲】広く乳幼児教育に興味・関心をもち、課題を発見し、主体的に考えることができる</p> <p>⑤【態度】常に愛情をもって社会に奉仕・貢献することができる</p>
--

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学情報公開ホームページにて以下のものを公表</p> <p>Ⅱ 修学上の情報等 教育研究に関する基本組織と教学運営体制</p> <p>https://www.tsurukawatandai.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/bf402630a03124ef119cc2a2ddcf152b.pdf</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数 (本務者)							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
国際こども教育学科	—	3人	4人	4人	2人	0人	13人
b. 教員数 (兼務者)							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
人		17人				17人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法：本学情報公開ホームページ https://www.tsurukawatandai.ac.jp/about_us/teacher_introduction.html						
c. FD (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)							
年間で開催する研修会は、学校法人全体で開催するもの1回、本務及び兼務の教職員対象は2回、そのほか、本務教職員むけのものが5回以上開催している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際こども教育学科	150人	135人	90%	300人	238人	79%	0人	0人
合計	150人	135人	90%	300人	238人	79%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数					
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
国際こども教育学科	111人 (100%)	1人 (0.9%)	95人 (85.6%)	15人 (13.5%)	
合計	111人 (100%)	1人 (0.9%)	95人 (85.6%)	15人 (13.5%)	
(主な進学先・就職先) 進学先：鶴川女子短期大学専攻科 就職先： 鶴川幼稚園鶴川女子短期大学附属、いしかわ幼稚園、広田幼稚園、北山幼稚園、東幼稚園、東菅幼稚園、三陽幼稚園、高千穂幼稚園、ふじがおか幼稚園、梨花幼稚園、豊泉幼稚園、愛和太陽幼稚園、淵野辺ひばり幼稚園、丸山幼稚園、忍野村(保育士)、成瀬フェリシア保育園、学びの森保育園、敬愛学園、三輪あいこう保育園、なごみ保育園、なごみ第二保育園、こころ保育園、そらまめ保育園、もみの木保育園、グリーンキッズ湘南、柿生保育園、いずみの森保育園、かしのき保育園、たまプラーザもみじ保育園、宮崎台コスモス保育園、開進こども園、マシュマロ保育園、ベテル保育園、たけのうち保育園、すこやか高津保育園、こひつじ愛児園、美希保育園北参道、まあれ愛恵会、あさのみ保育園 東京都立誠明学園、八王子福祉園、ル・プリ、滝乃川学園、やまぼと学園、正夢の会、ソレイユ川崎、翔の会、青い鳥、たんぼぼの家、一乗会、愛恵会乳児院、箱根恵明学園、強羅暁の星園、ちがさき学童の会 (備考)					
c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
国際こども教育学科	125人 (100%)	111人 (88.9%)	2人 (1.6%)	7人 (5.6%)	5人 (4%)
合計	125人 (100%)	111人 (93.3%)	2人 (1.6%)	7人 (5.6%)	5人 (4%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>鶴川女子短期大学学則に基づく「授業計画及び成績評価基準に関するガイドライン」にシラバス作成の必要事項としての授業方法とその内容、到達目標、成績評価の方法や基準の基本的事項を規定している。さらに、シラバス作成にあたっては“シラバスハンドブック”(年度ごと)を作成し、下記の項目についてさらに具体的に要点を明確にして全教員に徹底している。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 講義概要 (2) 実務経験の有無と内容およびその教育について (3) 授業計画および学習形態 (4) 教育目標との関連 (5) 到達目標 (6) 評価方法および評価基準 (7) 準備学習(予習・復習等) (8) 教科書 (9) 参考書・参考資料・参考URLなど (10) オフィスアワー <p>授業計画は前年度の後期より作成を開始し、学生には当該年度が始まる前の3月に学内のポータルサイトにて公表するとともに、当該年度の開始時点で本学情報公開ホームページにも情報公開している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学は、幼児の心身の発達を真に理解し、保育技術を体得した教養ある家庭婦人、保育者を養成する専門の女子短期大学として発足した。現在は“グローバル市民”を育むことのできる乳幼児教育者の養成にも力を入れ、以下の教育理念に基づき、後述する学位授与の方針を身につけた者に卒業を認定し学位を授与している。</p> <p>●教育理念</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 愛をもって幼児を育成する教育者の養成 2. 社会でも家庭でも自分らしく生きられる女性の育成 <p>●学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【知識・理解】 幼児教育に関する専門知識と技術を修得し、以下のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国家資格を有する保育者としてその資質能力を生かして社会に貢献できる ・ 地域および家庭において幼児・児童の育成に貢献できる 2. 【思考・判断】 周囲の状況や他者の気持ちを理解し、適切な判断ができる 3. 【技能・表現】 社会的スキルを身につけ、他者と円滑なコミュニケーションができる 4. 【関心・意欲】 こどもをはじめとして、広く社会（教育・福祉・環境）に関心をもち、積極的に貢献しようとする意欲をもつことができる 5. 【態度】 常に愛情をもって他者に奉仕することができる <p>また、卒業要件については学則、履修規程に必要な単位数を定め、またGPA規程には入学時からの累計ポイントの指標（努力義務）を明示している。なお卒業認定手順は卒業判定会議、教授会を経て学長が認定する。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	国際こども教育学科	62単位	有・無	55単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：学修指導、卒業判定、表彰等GPA規程により公表		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.tsurukawatandai.ac.jp/about_us/campus_map.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	国際こども教育学科	740,000円	290,000円	310,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生への経済的支援として奨学金制度がある。学生支援室では、学外奨学金である日本学生支援機構奨学金（貸与）や保育士修学資金（貸与）の申請手続きを行っている。また、学内奨学金として鶴川女子短期大学奨学金（給付）、鶴川女子短期大学鶴友会奨学金（給付）が設けられている。いずれも学業・人物ともに優秀な学生ではあるが、経済的理由により就学が困難である者を対象としている。</p> <p>障がい学生に対しては、障害者差別解消法の施行を受け、ダイバーシティ推進室を設置し、各部署が連携しながら支援をする体制が整えられている。支援を申し出た学生に対しては面談を行い、審議を経た上で合意書をかわしている。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>就職支援は学生支援室の職員1名と2年担任が情報交換をしながら、個々の学生の支援にあっている。学生支援室では、求人票だけでなく、受験報告書等の就職資料が整理されており、自由に閲覧することができる。また、新卒応援ハローワーク（八王子）よりジョブサポーターを月4回派遣してもらい、一般企業就職希望者に対する就職相談を実施している。公立保育士受験希望者には受験対策勉強会を1年次から行い、合格者を毎年輩出している。</p> <p>職業教育のための授業としては、「キャンパスライフデザイン」「キャリアデザインⅡ」がある。この授業では、仕事の選択だけでなく、ライフイベントなどを含んだ生涯にわたるライフスタイルのプロセスを明確に描くための指導を行っている。特に、2年生対象の「キャリアデザインⅡ」では、川崎市こども未来局との連携事業として、校内就職説明会や面接シミュレーションを実施し、学生が就職先と出会う機会を提供している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 健康管理は学生支援室で行っている。健康診断を年に一度実施するほか、体調不良の場合には静養室を使用することができる。</p> <p>メンタルヘルスケアについては、学生相談室が中心となって対応している。専門のカウンセラー1名が週に1日来校し、事前予約をした上でカウンセリングを実施している。カウンセリング室は人目を気にせず来談できるように配慮されている。個人情報保護を基本とした上で、カウンセラーと学生相談失担当教員が定期的に学生の個々の問題についてカンファレンスを実施し、必要に応じて保護者や医療機関・福祉行政窓口と連携して問題解決を図っている。また、クラス担任は学生支援委員会の教職員と情報共有しながら、学生の悩みや困っていることの早期発見に努めている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：本学情報公開ホームページに公表</p> <ol style="list-style-type: none">1. 鶴川女子短期大学 研究紀要 (https://www.tsurukawatandai.ac.jp/public.html)2. 自己点検・評価報告書の平成30年度 教員研究活動一覧 pp.60-67 (https://www.tsurukawatandai.ac.jp/pdf/self_inspection_h30.pdf)
